

2022 年 7 月 22 日

株式会社三菱 UFJ 銀行

三菱自動車工業株式会社との協業について

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下 当行）は、今般、三菱自動車工業株式会社（取締役代表執行役社長 兼 最高経営責任者 ^{かとう たかお} 加藤 隆雄、以下 三菱自動車工業）と、カーボンニュートラル社会の実現に向けた協業に関する協定書（以下 本協定）を締結いたしました。

昨今、世界的な気候変動問題への対応が急務となる中、カーボンニュートラル社会の実現に向け、法人のお客さまを中心に温室効果ガス（Greenhouse Gas、以下 GHG）排出量の削減等が喫緊の課題となっております。

当行は本協定を通じて、2009 年 6 月に世界初の量産電気自動車として『アイ・ミーブ』を発売して以来、電動化技術をリードしてきた三菱自動車工業と包括的なパートナーシップを結び、お客さまの GHG 排出量削減に向けた取り組みを支援して参ります。

その一環として、まずは幅広い電動車ラインナップを有する三菱自動車工業を、当行の顧客基盤・ネットワークを活用して、全国のお客さまに広くご紹介することで、カーボンニュートラル社会の実現を進めて参ります。

さらには、「MUFG カーボンニュートラル宣言」に基づき、三菱自動車工業の脱炭素化に向けた様々な取り組みを、当行及び当行関連会社が有する幅広いソリューションを通じて支援いたします。

【本協定の概要】

1. カーボンニュートラル社会の実現に向けた取り組みを実践または検討している当行のお客さまの三菱自動車工業への紹介
2. 三菱自動車工業及びそのサプライヤーの GHG 排出量可視化・削減活動を後押しすることを目的とした、当行及び当行関連会社によるソリューションの提供
3. その他、両者が合意した事項

【三菱自動車工業株式会社について】

三菱自動車は SUV づくりのノウハウとラリーで培った四輪制御技術、そして電動化技術に強みをもつ自動車メーカーです。ルノー、日産とのアライアンスメンバーであり、日本をはじめ、タイ、インドネシア、中国、フィリピン、ベトナム、ロシアなどに生産拠点があり、グローバルで約 30,000 名の従業員を擁しています。

2009 年には世界初の量産電気自動車であるアイ・ミーブ、2013 年には世界初の SUV タイプのプラグインハイブリッド車であるアウトランダーPHEV を発売するなど電動車普及に取り組んできました。2020 年には新環境計画パッケージを策定し、脱炭素化社会の実現に貢献しながら、行動範囲を広げたい、さまざまなことに挑戦したいというドライバーの想いに応えるクルマづくりを推進しています。詳細については、三菱自動車ホームページ (<https://www.mitsubishi-motors.com/jp/>) をご覧ください。